

書名	恋ふらむ鳥は			著者名	澤田瞳子／著		
出版社	毎日新聞出版	ISBN	978-4-620-10857-5	本体価格	¥2,000	発売	2022/7/4
内容	「恋多き女」——。そんなイメージで語られることの多かった万葉の歌人・額田王を新解釈。誰かの「妻」ではなく、一人の歌詠み、勤め人として懸命に生きる道を模索するが、やがて飛鳥の動乱に呑み込まれていく。直木賞作家による最新傑作長編。						

書名	聖徳太子「和のころ」の真実			著者名	産経新聞取材班／著		
出版社	浪速社	ISBN	978-4-88854-550-1	本体価格	¥1,818	発売	2022/7/12
内容	聖徳太子没後1400年の御遠忌に当たる令和3年から4年、産経新聞(大阪本社)は「和をつなぐ 聖徳太子1400年」と題し隠れた実像に迫った。本書は、その連載記事と新たな取材を基に、加筆・豊富な写真やデータを駆使して再編集。本書を手にとっていただければ、聖徳太子を再発見し、日本の精神性の源流を再認識していただけると確信している。						

書名	カラー版 日本の仏像とお寺の謎100			著者名	かみゆ歴史編集部／著		
出版社	イースト・プレス	ISBN	978-4-7816-8083-5	本体価格	¥1,000	発売	2022/7/12
内容	寺と神社は何が違うのか？ 観音さまやお釈迦さまなど、仏はどれだけいて、誰が一番偉いのか？ 仏像の髪形はなぜ“パンチパーマ”風なのか？ なぜ奈良に大仏があるのか？ 本書では、日本人にとって身近なお寺や仏の“言われてみればわからない”疑問や謎を100テーマ紹介。お寺と仏教の基礎知識、仏の尊格(ランク)の謎、仏像の美しさの謎、有名な寺や僧侶たちの謎を、豊富なエピソードとビジュアル・図解で解説。お寺と仏像がもっと身近になる1冊！						

書名	運慶			著者名	編集／横須賀美術館、神奈川県立金沢文庫		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08415-4	本体価格	¥2,000	発売	2022/7/16
内容	平安末期から鎌倉初期の大仏師運慶。奈良での造仏が知られるが、鎌倉幕府と結びついて東国でも活躍の場を広げ、三浦一族ゆかりの寺の造仏にも深く関与した。運慶とその工房が手がけたとされる仏像を中心に、貴重な文化財を新撮影で多数掲載し、鎌倉幕府と三浦一族が残した歴史と文化に迫る。運慶八百年遠忌を記念した、共同特別展の公式図録。						

書名	日本の古代豪族 100			著者名	水谷 千秋／著			
出版社	講談社	ISBN	978-4-06-528622-7	本体価格	¥1,500	発売	2022/7/21	
内容	本書に登場する主な豪族 1 中央の最有力豪族 物部連、和邇臣、大伴連、阿倍臣、葛城臣、巨勢臣、蘇我臣、中臣連など18氏 他多数							

書名	幸せへの四重奏			著者名	元渕 舞／著			
出版社	天理教道友社	ISBN	978-4-8073-0652-7	本体価格	¥1,000	発売	2022/7/26	
内容	“一音一恩”に感謝を込めて天理から世界へ羽ばたいたヴィオラ奏者。 恩返しの中で「人」と「音」と向き合い、“幸せのハーモニー”を奏でる。 『天理時報』の同名連載エッセー(平成29～令和4年)に書き下ろし2編を加え書籍化。							

書名	日本の美仏図鑑(仮)			著者名	著／大角 修、長谷 法寿			
出版社	二見書房	ISBN	978-4-576-22512-8	本体価格	¥2,000	発売	2022/7/26	
内容	「飛鳥・奈良時代の美仏」「平安時代の美仏」「鎌倉時代の美仏」の3つに分けて、その魅力を一冊で徹底的に紹介します。そこで本書は、「飛鳥時代の釈迦如来と薬師如来像」「奈良時代の変化観音像」「平安時代の密教像」といった、その時々で移り変わる仏教の信仰を紐解きながら、それを背景に登場した様々な仏像をピックアップして解説します。							

書名	奈良絵本・絵巻 237			著者名	石川 透／著			
出版社	平凡社	ISBN	978-4-582-84237-1	本体価格	¥3,600	発売	2022/7/27	
内容	奈良絵本・絵巻は、室町末から近世前期にかけて制作された一品物の手書き絵本。この分野の研究をリードしてきた著者によって、その重要性、豊饒さをわかりやすく伝える。図版多数。							